

# 水道事業会計

# 輪 島 市 水 道 事 業 会 計

## 1. 業務状況について

平成28年度の業務実績では、総配水量は3,197,209 m<sup>3</sup>で、前年度(3,247,344 m<sup>3</sup>)に比べ50,135 m<sup>3</sup>(1.54%)の減であり、年間有収水量は2,886,734 m<sup>3</sup>で、前年度(2,951,836 m<sup>3</sup>)に比べ65,102 m<sup>3</sup>(2.21%)の減、有収率(配水量に対する有収水量の比率)は90.29%で、前年度(90.90%)に比べ0.61ポイント減少している。

## 2. 予算決算について(税込み)

### (1) 収益的収入及び支出

(単位：円・%)

科 目	収 入			科 目	支 出		
	予算額	決算額	収入率		予算額	決算額	執行率
<b>水道事業収益</b>	<b>1,086,291,000</b>	<b>1,124,812,390</b>	<b>103.55</b>	<b>水道事業費用</b>	<b>1,119,089,000</b>	<b>1,013,644,337</b>	<b>90.58</b>
営業収益	647,146,000	658,994,000	101.83	営業費用	962,681,000	870,515,412	90.43
営業外収益	435,980,000	465,739,640	106.83	営業外費用	151,245,000	142,748,860	94.38
特別利益	3,165,000	78,750	2.49	特別損失	4,163,000	380,065	9.13
				予備費	1,000,000	0	-

収益的収入は、予算額10億8,629万1千円に対して、決算額は11億2,481万2千円(収入率103.55%)となっている。

収益的支出は、予算額11億1,908万9千円に対して、決算額は10億1,364万4千円(執行率90.58%)となっている。

### (2) 資本的収入及び支出

(単位：円・%)

科 目	収 入			科 目	支 出		
	予算額	決算額	収入率		予算額	決算額	執行率
<b>資本的収入</b>	<b>360,198,000</b>	<b>339,619,480</b>	<b>94.29</b>	<b>資本的支出</b>	<b>843,485,000</b>	<b>700,394,196</b>	<b>83.04</b>
企業債	141,800,000	141,800,000	100.00	建設改良費	418,660,000	275,569,250	65.82
負担金	12,471,000	5,175,360	41.50	企業債償還金	389,825,000	389,824,946	100.00
国庫支出金	71,621,000	71,621,000	100.00	貸付金	35,000,000	35,000,000	100.00
補償金	13,248,000	185,200	1.40				
固定資産売却代金	220,000	0	-				
出資金	105,838,000	105,837,920	100.00				
工事負担金	15,000,000	15,000,000	100.00				

(資本的収入額339,619,480円－資本的支出額700,394,196円＝△360,774,716円)

不足額3億6,077万4,716円は、過年度分損益勘定留保資金3億4,606万4,710円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,471万6円で補てんしている。

### 3. 損益計算について

総事業収益は10億7,414万9千円で、前年度に比べ2,099万円(1.92%)の減、総事業費用は9億7,797万4千円で、前年度に比べ945万5千円(0.96%)の減、収支差引9,617万5千円の純利益となっている。

#### (1) 収益の部

(単位：円・%)

科 目	平成28年度		平成27年度		前年度に対する増減	
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	金 額	比 率
<b>営業収益</b>	<b>610,220,803</b>	<b>56.81</b>	<b>622,119,221</b>	<b>56.81</b>	<b>△ 11,898,418</b>	<b>△ 1.91</b>
給水収益	511,600,562	47.63	519,804,465	47.46	△ 8,203,903	△ 1.58
受託工事収益	0	-	0	-	0	-
その他営業収益	918,450	0.09	1,090,100	0.10	△ 171,650	△ 15.75
簡易水道給水収益	97,570,191	9.08	101,058,606	9.23	△ 3,488,415	△ 3.45
簡易水道受託工事収益	0	-	0	-	0	-
簡易水道その他営業収益	131,600	0.01	166,050	0.02	△ 34,450	△ 20.75
<b>営業外収益</b>	<b>463,854,126</b>	<b>43.18</b>	<b>469,550,686</b>	<b>42.88</b>	<b>△ 5,696,560</b>	<b>△ 1.21</b>
受取利息及び配当金	565,256	0.05	1,198,304	0.11	△ 633,048	△ 52.83
他会計負担金及び補助金	93,013,620	8.66	109,769,111	10.02	△ 16,755,491	△ 15.26
長期前受金戻入	150,590,741	14.02	151,240,329	13.81	△ 649,588	△ 0.43
加入金	22,730,000	2.12	5,888,000	0.54	16,842,000	激増
諸収入	57,236	0.01	78,736	0.01	△ 21,500	△ 27.31
雑収益	235,725	0.02	215,143	0.02	20,582	9.57
簡易水道他会計負担金 及び補助金	75,898,720	7.07	86,259,148	7.88	△ 10,360,428	△ 12.01
簡易水道長期前受金戻入	120,120,828	11.18	114,366,452	10.44	5,754,376	5.03
簡易水道加入金	642,000	0.06	535,000	0.05	107,000	20.00
簡易水道諸収入	0	-	0	-	0	-
簡易水道雑収益	0	-	463	0.00	△ 463	皆減
<b>特別利益</b>	<b>74,026</b>	<b>0.01</b>	<b>3,468,889</b>	<b>0.32</b>	<b>△ 3,394,863</b>	<b>△ 97.87</b>
固定資産売却益	0	-	334,833	0.03	△ 334,833	皆減
過年度損益修正益	74,026	0.01	160,010	0.01	△ 85,984	△ 53.74
長期前受金戻入(過年度)	0	-	2,008,544	0.18	△ 2,008,544	皆減
その他特別利益	0	-	965,502	0.09	△ 965,502	皆減
<b>収 益 計</b>	<b>1,074,148,955</b>	<b>100.00</b>	<b>1,095,138,796</b>	<b>100.00</b>	<b>△ 20,989,841</b>	<b>△ 1.92</b>
当年度純損失	0	-	0	-	0	-
<b>合 計</b>	<b>1,074,148,955</b>	<b>100.00</b>	<b>1,095,138,796</b>	<b>100.00</b>	<b>△ 20,989,841</b>	<b>△ 1.92</b>

営業収益で6億1,022万1千円、営業外収益で4億6,385万4千円、特別利益で7万4千円となっている。

## (2) 費用の部

(単位：円・%)

科 目	平成28年度		平成27年度		前年度に対する増減	
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	金 額	比 率
<b>営業費用</b>	<b>857,519,458</b>	<b>79.83</b>	<b>857,737,332</b>	<b>78.32</b>	<b>△ 217,874</b>	<b>△ 0.03</b>
原水及び浄水費	56,417,860	5.25	61,123,062	5.58	△ 4,705,202	△ 7.70
配水及び給水費	43,460,206	4.05	44,113,655	4.03	△ 653,449	△ 1.48
受託工事費	0	-	0	-	0	-
総係費	112,282,647	10.45	97,974,477	8.95	14,308,170	14.60
簡易水道原水及び浄水費	26,297,646	2.45	28,661,077	2.62	△ 2,363,431	△ 8.25
簡易水道配水及び給水費	9,677,459	0.90	8,444,429	0.77	1,233,030	14.60
簡易水道受託工事費	0	-	0	-	0	-
簡易水道総係費	11,166,431	1.04	10,670,985	0.97	495,446	4.64
減価償却費	413,035,491	38.45	418,628,541	38.23	△ 5,593,050	△ 1.34
簡易水道減価償却費	179,182,112	16.68	185,532,942	16.94	△ 6,350,830	△ 3.42
資産減耗費	1,388,669	0.13	1,210,248	0.11	178,421	14.74
簡易水道資産減耗費	4,610,937	0.43	1,377,916	0.13	3,233,021	激増
その他営業費用	0	-	0	-	0	-
簡易水道その他営業費用	0	-	0	-	0	-
<b>営業外費用</b>	<b>120,080,686</b>	<b>11.18</b>	<b>128,253,648</b>	<b>11.71</b>	<b>△ 8,172,962</b>	<b>△ 6.37</b>
支払利息及び取扱諸費	83,658,536	7.79	89,483,113	8.17	△ 5,824,577	△ 6.51
簡易水道支払利息 及び取扱諸費	35,544,324	3.31	37,976,328	3.47	△ 2,432,004	△ 6.40
雑支出	541,140	0.05	52,516	0.00	488,624	激増
簡易水道雑支出	336,686	0.03	741,691	0.07	△ 405,005	△ 54.61
<b>特別損失</b>	<b>373,992</b>	<b>0.03</b>	<b>1,438,640</b>	<b>0.13</b>	<b>△ 1,064,648</b>	<b>△ 74.00</b>
過年度損益修正損	211,157	0.02	721,640	0.07	△ 510,483	△ 70.74
固定資産譲渡損	162,835	0.02	0	-	162,835	皆増
その他特別損失	0	-	717,000	0.07	△ 717,000	皆減
<b>費 用 計</b>	<b>977,974,136</b>	<b>91.05</b>	<b>987,429,620</b>	<b>90.16</b>	<b>△ 9,455,484</b>	<b>△ 0.96</b>
<b>当年度純利益</b>	<b>96,174,819</b>	<b>8.95</b>	<b>107,709,176</b>	<b>9.84</b>	<b>△ 11,534,357</b>	<b>△ 10.71</b>
<b>合 計</b>	<b>1,074,148,955</b>	<b>100.00</b>	<b>1,095,138,796</b>	<b>100.00</b>	<b>△ 20,989,841</b>	<b>△ 1.92</b>

営業費用で8億5,751万9千円、営業外費用で1億2,008万1千円、特別損失で37万4千円となっている。

#### 4. 貸借対照表について

##### (1) 資産の部

(単位：円・%)

科 目	平成28年度		平成27年度		前年度に対する増減	
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	金 額	比 率
<b>固定資産</b>	<b>11,631,746,203</b>	<b>83.15</b>	<b>11,974,969,340</b>	<b>83.86</b>	△ <b>343,223,137</b>	△ <b>2.87</b>
有形固定資産	11,058,863,858	79.05	11,396,729,736	79.81	△ 337,865,878	△ 2.96
無形固定資産	572,882,345	4.10	578,239,604	4.05	△ 5,357,259	△ 0.93
<b>流動資産</b>	<b>2,357,262,121</b>	<b>16.85</b>	<b>2,305,494,867</b>	<b>16.14</b>	<b>51,767,254</b>	<b>2.25</b>
現金預金	2,267,493,684	16.21	2,214,010,132	15.50	53,483,552	2.42
未収金	39,442,660	0.28	62,581,909	0.44	△ 23,139,249	△ 36.97
貯蔵品	15,325,777	0.11	13,902,826	0.10	1,422,951	10.23
短期貸付金	35,000,000	0.25	15,000,000	0.11	20,000,000	激増
前払金	0	-	0	-	0	-
その他流動資産	0	-	0	-	0	-
<b>合 計</b>	<b>13,989,008,324</b>	<b>100.00</b>	<b>14,280,464,207</b>	<b>100.00</b>	△ <b>291,455,883</b>	△ <b>2.04</b>

##### (2) 負債・資本の部

(単位：円・%)

科 目	平成28年度		平成27年度		前年度に対する増減	
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	金 額	比 率
<b>固定負債</b>	<b>5,085,568,623</b>	<b>36.35</b>	<b>5,333,133,600</b>	<b>37.35</b>	△ <b>247,564,977</b>	△ <b>4.64</b>
企業債	5,029,646,783	35.95	5,282,900,079	36.99	△ 253,253,296	△ 4.79
引当金	55,921,840	0.40	50,233,521	0.35	5,688,319	11.32
<b>流動負債</b>	<b>505,498,697</b>	<b>3.61</b>	<b>551,969,996</b>	<b>3.87</b>	△ <b>46,471,299</b>	△ <b>8.42</b>
企業債	395,053,296	2.82	389,824,946	2.73	5,228,350	1.34
未払金	100,105,204	0.72	152,376,119	1.07	△ 52,270,915	△ 34.30
未払費用	0	-	0	-	0	-
引当金	6,147,080	0.04	5,584,512	0.04	562,568	10.07
その他流動負債	4,193,117	0.03	4,184,419	0.03	8,698	0.21
<b>繰延収益</b>	<b>4,167,841,416</b>	<b>29.79</b>	<b>4,367,517,859</b>	<b>30.58</b>	△ <b>199,676,443</b>	△ <b>4.57</b>
長期前受金	4,167,841,416	29.79	4,367,517,859	30.58	△ 199,676,443	△ 4.57
<b>資本金</b>	<b>3,428,537,337</b>	<b>24.51</b>	<b>3,322,699,417</b>	<b>23.27</b>	<b>105,837,920</b>	<b>3.19</b>
<b>剰余金</b>	<b>801,562,251</b>	<b>5.73</b>	<b>705,143,335</b>	<b>4.94</b>	<b>96,418,916</b>	<b>13.67</b>
資本剰余金	44,132,651	0.32	43,888,554	0.31	244,097	0.56
利益剰余金	757,429,600	5.41	661,254,781	4.63	96,174,819	14.54
<b>合 計</b>	<b>13,989,008,324</b>	<b>100.00</b>	<b>14,280,464,207</b>	<b>100.00</b>	△ <b>291,455,883</b>	△ <b>2.04</b>

総資産額は139億8,900万8千円で、固定資産116億3,174万6千円、流動資産23億5,726万2千円となっている。

有形固定資産110億5,886万4千円の内訳は、土地2億9,324万6千円、建物4億6,397万円、構築物94億1,217万9千円、機械及び装置8億5,584万円、車両及び運搬具336万8千円、工具器具及び備品493万6千円、建設仮勘定2,532万4千円となっている。

負債・資本総額は139億8,900万8千円で、固定負債で50億8,556万9千円、流動負債で5億549万9千円、繰延収益で41億6,784万1千円、資本金で34億2,853万7千円、剰余金で8億156万2千円となっている。

## 5. 経営分析

自己資本構成比率等について、最近3か年の推移を見ると、次のとおりである。

(単位：%)

項目	平成28年度	平成27年度	平成26年度	説明
自己資本構成比率	43.07	40.63	38.66	総資本に対する自己資本の占める割合を示すもので、比率が大きいほど安全性は大である。
流動比率	466.32	417.68	438.95	流動負債に対する流動資産の割合、すなわち企業の支払能力をみるもので、比率は200%以上大きいほど良好。
総収益対総費用比率	109.83	110.91	104.01	総費用に対する総収益の割合、すなわち企業の収支のバランスをみるもので、比率は100%以上大きいほど良好。
人件費対総費用比率	8.29	7.73	6.79	総費用に対する人件費の割合をみるもので、比率は小さいほど良好。
純利益対総収益比率	8.95	9.84	3.85	総収益のうち、最終的に企業に残されて純利益となっているものの割合を示すもので、比率は大きいほど良好。
企業債償還額対総収益比率	36.29	34.76	33.17	総収益に対する企業債償還額の割合をみるもので、比率は小さいほど良好。

## むすび

以上が輪島市水道事業会計における平成 28 年度決算の概要である。

平成 28 年度における総配水量は 3,197,209m<sup>3</sup> で、前年度(3,247,344m<sup>3</sup>)に比べ 50,135m<sup>3</sup> (1.54%)の減少となった。そのうち総有効有収水量は 2,886,734m<sup>3</sup> で、前年度(2,951,836m<sup>3</sup>)に比べ 65,102m<sup>3</sup> (2.21%)の減少となった。また、有収率については 90.29%となっており、前年度(90.90%)に比べ 0.61 ポイント下降している。

水道総事業収益は 10 億 7,414 万 9 千円で、前年度(10 億 9,513 万 9 千円)に比べ 2,099 万円(1.92%)の減少となった。一方、水道総事業費用も 9 億 7,797 万 4 千円で、前年度(9 億 8,743 万円)に比べ 945 万 5 千円(0.96%)の減少となり、収支差引 9,617 万 5 千円の純利益を計上している。これは、平成 26 年度からの新会計基準適用に伴い、他会計補助金等により取得した資産の補助金等見合い分減価償却費に相当する長期前払金戻入の影響などにより、経営全体としては当年度純利益を計上する結果となったものであるが、給水収益や経費などの経理状況についてみると、営業費用は、前年度よりわずかに減少したものの、全体として前年度より営業損失を多く計上する結果となった。

営業収益は 6 億 1,022 万円で、前年度(6 億 2,211 万 9 千円)に比べ 1,189 万 8 千円(1.91%)の減少となった。主に給水収益で上水道、簡易水道合わせて 6 億 617 万 1 千円となり、前年度(6 億 2,086 万 3 千円)に比べ 1,169 万 2 千円(18.83%)の減少となった。また営業外収益では、前年度に比べ 569 万 7 千円(1.21%)の減少となった。これは、未普及地域解消事業による一部供用開始されたことなどにより、加入金が前年度に比べ 1,684 万 2 千円(286.04%)の増収となったものの、他会計負担金及び補助金が前年度に比べ 2,711 万 6 千円(13.83%)の減収となったことによる。

営業費用は 8 億 5,751 万 9 千円で、前年度(8 億 5,773 万 7 千円)に比べ 21 万 8 千円(0.03%)の減少となった。また営業外費用では、企業債利息が純減したこともあり、前年度に比べ 817 万 3 千円(6.32%)の減少となった。

資本的収支は、総収入額で 3 億 3,961 万 9 千円、総支出額で 7 億 39 万 4 千円となっており、差引不足額の 3 億 6,077 万 5 千円については、過年度分損益勘定留保資金 3 億 4,606 万 5 千円並びに当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1,471 万円でこれを補っている。

企業債については、未償還残高は 54 億 2,470 万円(財政融資資金 38 億 4,319 万 9 千円、地方公共団体金融機構 15 億 8,150 万 1 千円)で、前年度に比べ 2 億 4,802

万5千円の減少となった。今年度においては、1億3,830万円の新規借入れを行っている。総収益に対する企業債償還額の割合が36.29%(昨年度34.76%)と比率の上昇が続いており、経営環境の厳しさが増している状況である。

また、企業の支払能力をみる流動比率は466.32%(昨年度417.68%)となっており指数上は決して悪いとは言えない。

成人体重の60~70%が水で成り立っているとされており、水は身体・生命を維持するための重要な要素である。さらに水道は生活基盤の最重要な社会資本である。

輪島市の水道事業は給水人口が年々減少傾向にある上に、水道使用施設・設備が「節水型」に変わりつつあり、消費量の大きな伸びは期待できない状況にある。

水道水源に関しては、輪島地区は河原田川、門前地区は八ヶ川、町野地区は町野川の3つの河川に分かれていることから、維持管理が広域で複雑且つ手間がかかるという特徴をもっている。このことは、平常時はもとより緊急事態発生時には迅速かつ適切に対処し、水圧の適正化や水質の確保に万全を期すことの困難さを意味している。災害時の対応についても更なる対策等の検討が必要であると思われる。

経営上は、企業債償還金や未普及地域の解消、老朽施設・設備の更新及び布設替等で多額の費用が予想される場所であり、事業化にあたっては優先順位を付けて重点的に実施すべきと思われる。

しかしながら、水道事業は市民生活の最も重要な基盤であり公営企業として安全・安心な水道水供給のため、中長期的に安定した経営を維持していく努力が求められることから水道事業に携わる職員一同の奮起を期待したい。